

# 千葉県立袖ヶ浦特別支援学校は

肢体不自由教育、病弱教育の特別支援学校として、千葉県千葉リハビリテーションセンター・千葉県こども病院と連携を図りつつ千葉県全域の教育支援を行います。また、教育、医療、福祉、就労に関する情報提供を積極的に行います。



## 困った時は、ご相談下さい

- Q1:動きのぎこちなさやまひへの配慮はどうしたらいいの？
- Q2:車いすや補装具の作り方や使い方のアドバイスをして下さい。
- Q3:医療的なケアや食事の仕方など健康や医療に関して相談したいのですが？
- Q4:特別に支援が必要な子どもへの様々教材教具などは、どんなものがあるの？
- Q5:進路や、地域の福祉サービス関係の情報がほしいのですが？ ……など

このような相談に関してコーディネーターが対応します

幼稚園・保育所・小中学校・高等学校・作業所などで障害のある方と関わっている方、支援を受けたいと望んでいる方、又はその保護者、どなたからの相談も受け付けます。相談についての秘密は厳守いたします。



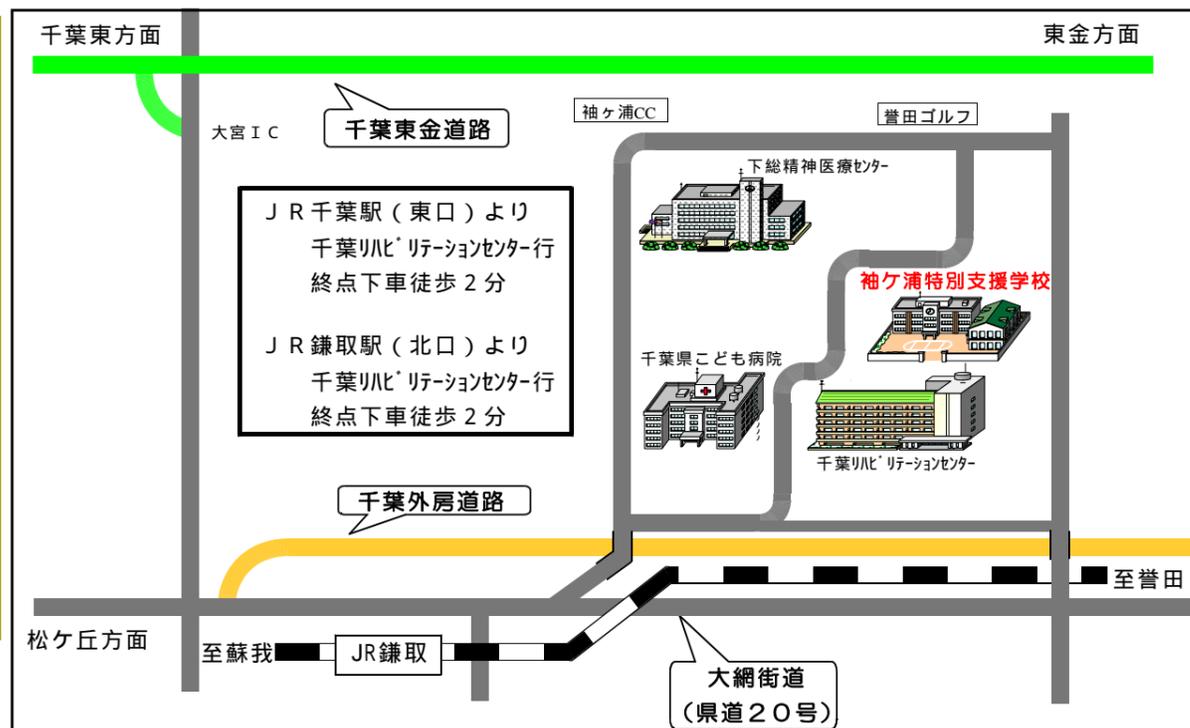
千葉県立袖ヶ浦特別支援学校 地域支援係

電話 043-291-6922

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～17:00



# 学校案内図



# 学校案内



〒266-0005 千葉県千葉市緑区菅田町1-45-1



TEL 043-291-6922

FAX 043-292-1706

E-mail sodegaura-sh@chiba-c.ed.jp

千葉県立袖ヶ浦特別支援学校

## 小学部

1年生から6年生までの児童が、友だちや先生と仲良く元気にいろいろな学習に取り組んでいます。6年間で、いろいろなことに進んで取り組めるようになっていたり、自分の気持ちを積極的に伝えることができるようになっていたりして心も身体も大きく成長していきます。



## 中学部

教科によって教師が替わったり、学年や学部全体での活動が多くなったりします。さまざまな体験や人とのかかわりを通して大きく成長します。将来の生活を意識しながら学んでいく3年間です。



## 高等部

小中学部の学習成果を更に推し進めるとともに、進路を見だし社会参加への準備をするのが高等部です。学年や学級によって、教科指導、日常生活の指導、作業学習(木工、陶芸、手工芸)、自立活動等の学習を行っています。



## 院内部

千葉県こども病院に1ヶ月以上入院している小1から高3までの児童生徒が学習しています。授業は病室や学習室で行います。また各学期2回ずつ、いろいろな行事も設けています。治療を優先しながら、子どもたちとのかかわり合い、ふれあいを大事にしています。



## 千葉県立袖ヶ浦特別支援学校について

身体に障害がある児童生徒や、千葉リハビリテーションセンター、千葉県こども病院に入院している児童生徒を対象に小学部から高等部まで、12年間の教育を行っている学校です。個々のニーズに合わせ、教科の指導、領域・教科を合わせた指導(生活単元学習、作業学習)、自立活動、などを行っています。

## 訪問学級

様々な障害から、通学して教育を受けることが難しい児童生徒の家庭を、教師が訪問し、ゆっくりと子どもに合わせた授業を行っています。体調がよい時は学校の友だちとの集団活動を経験するため、スクーリングを実施しています。



## 寄宿部

寄宿舎生活では将来自立して、或いは自立的にくらしていくために必要な力を養うことができます。学習はもちろん、放課後や自由時間の遊び、お楽しみ会などの行事や最大の楽しみの部屋外出などで仲間と共に明るく楽しく過ごすことができます。



## 自立活動部

子どもたち一人一人の実態に合わせて、保護者や専門機関と連携をとりながら自立活動の学習を行っています。身体を動かしたり、いろいろな姿勢をとったりすることを楽しみながら、自分の力を発揮し、意欲的に生活していくための支援をしています。



## 床上学級

愛育園、陽育園に入園していて、常に医療的なケアを必要としている児童生徒のところに教師が出向いて授業を行っています。一人一人の体調に合わせて、病室や学習室で活動をしています。体調が良いときはスクーリングも行っています。

